

『第1回定例会』および『第2回講演会』の報告

1. はじめに

北方海域技術研究会では、平成21年11月28日に第1回定例会を開催し、12月11日に第2回講演会を独立行政法人開発土木研究所 寒地土木研究所と共催しましたので報告いたします。

2. 『平成21年度 第1回定例会』

第1回定例会は、北海道開発局室蘭開発建設部苦小牧港湾事務所様のご好意により実現しました。内容は港湾業務艇に乗船し苦小牧西港区の海上からの現場視察と港湾事務所での講演会という二部構成で開催しました。参加者は30名でした。



乗船した港湾業務艇

港湾業務艇での現場視察に合わせて、講演1として「苦小牧港の現状と課題」を開発局室蘭開発建設部苦小牧港湾事務所 佐々木朗所長より今後の将来像なども含めて非常に判りやすくご説明いただきました。



講演される佐々木所長

現場視察後に、講演2として開発局室蘭開発建設部苦小牧港湾事務所 第2工務課長 関口浩二氏に「苦小牧港における長周期波対策の現状と取り組み」と題して、ご講演いただきました。



講演される関口課長

また、当研究会からも講演3、講演4として福田、斉藤両氏が講演しました。

福田技術士は、苦小牧港内でのハタハタの産卵基質の開発に関する講演を、斉藤技術士は、「北海道産マナマコ」を主体に港湾構造物と水産資源に関する講演を行いました。講演者及び講演内容は、下表のとおりです。また、その後の意見交歓会は、グランドホテルニュー王子で行い、28名の方が参加されました。

表-1 講演内容と講演者

講演内容	講演者
講演1「苦小牧港の現状と課題」	苦小牧港湾所長 佐々木 朗 氏
講演2「苦小牧港における長周期波対策の現状と取り組み」	第2工務課長 関口 浩二 氏
講演3「苦小牧港におけるハタハタ産卵基質の開発について」	講師（水産部門） 福田 光男 氏
講演4「港湾構造物と水産資源」	講師（水産部門） 斉藤 二郎 氏

3. 『平成21年度 第2回講演会』

第2回講演会は、独立行政法人開発土木研究所寒

地土木研究所の講堂で開催いたしました。まず、沿岸域グループのリーダーの許史様より開会のご挨拶をいただき、寒地土研様との共催による講演会が今回で5回目となることを紹介いただきました。

講演1では寒地水圏研究グループ寒冷沿岸域チーム研究員の菅原吉浩氏に「護岸における被災事例と原因の考察について」と題して、護岸背後の吸出による被災事例はシートや目地が多く、施工後のボイリングなどが原因であることなどをご説明いただきました。講演2では、寒地水圏研究グループ水産土木チーム主任研究員の渡辺光弘氏に「武蔵堆の生物生産性の基礎調査について」と題して、武蔵堆での調査の背景や目的、および今年度の調査結果の取りまとめまでの紹介をいただき、現場の水深と流速や水温躍層などが、クロロフィルや植物プランクトンの分布と関係があることなどが調査結果として得られたことを説明していただきました。講演3では、当研究会幹事の北海道立中央水産試験場水産工学室室長山内繁樹技術士に「水産基盤整備事業における人工魚礁の機能に関する研究——魚礁技術の展開と展望——」と題して、魚礁と魚種の関係について魚礁の形状に対する様々な魚類の集積状況調査結果を定量的に解析し、魚礁機能の評価と新たな将来展望についての研究結果を紹介していただきました。

最後に特別講演として北海道大学低温科学研究所環オホーツク観測研究センター教授 三寺史夫氏に「アムール・オホーツクプロジェクトと『巨大魚付林』仮説」と題して、アムール川によって大量に運ばれる「溶存鉄」の挙動と北太平洋の海洋構造との関連、アムール川流域の土地利用状況の変化について紹介をいただきました。



特別講演される三寺教授

なお、第2回講演会の講演内容と講演者は表-2のとおりです。

表-2 講演内容と講演者

講演内容	講演者
講演1 「護岸における被災事例と原因の考察について」	寒地土研 研究員 菅原 吉浩 氏
講演2 「武蔵堆の生物生産性の基礎調査について」	寒地土研 主任研究員 渡辺 光弘 氏
講演3 「水産基盤整備事業における人工魚礁の機能に関する研究——魚礁技術の展開と展望——」	北海道立中央水産試験場水産工学室室長 山内 繁樹 氏
講演4 「アムール・オホーツクプロジェクトと『巨大魚付林』仮説」	北海道大学低温科学研究所 環オホーツク観測研究センター教授 三寺 史夫 氏

4. おわりに

第1回定例会は、北海道開発局室蘭建設部苫小牧港湾事務所様のご好意により実現し、第2回講演会は、寒地土木研究所様との共催となりました。両会とも講演者を多数迎えて、質疑応答も交え大変有意義な時間を過ごさせていただいたことをこの場をお借りして御礼申し上げます。

また、意見交換会でも活発な情報交換が行われましたことを合わせてご報告申し上げます。北方海域技術研究会では今後も講演会などの開催を予定しております。会員の方は勿論、会員以外の方も歓迎致しますので是非御参加いただきますようお願い申し上げます。

(文責：北方海域技術研究会幹事 藤井 淳夫)



講演会全景